

発生箇所	③コンクリート版表面 ⑤コンクリート版内部
分類	材料・施工
参考箇所	4-8-11 初期ひび割れ対策

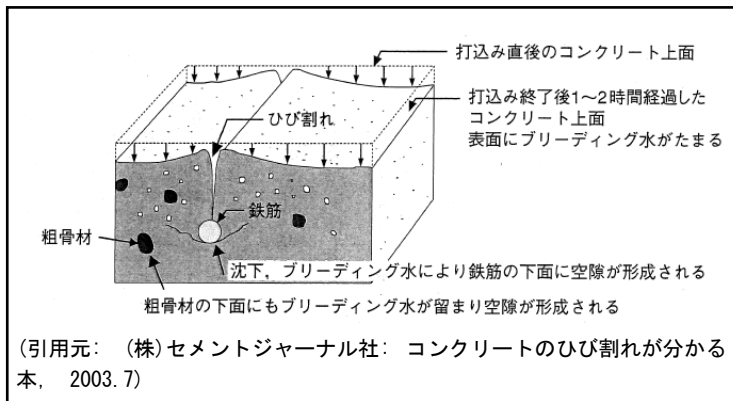
●内容

- ・連続鉄筋コンクリート舗装の縦方向鉄筋の直上にひび割れが発生した。



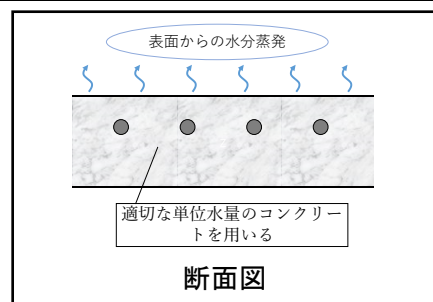
●原因

- ・縦方向鉄筋のかぶりの不足や、スランプが大きく、ブリーディングが多く、凝結の遅いコンクリートを打設したことで沈下ひび割れが発生した。
- ・コンクリートの荷おろし時に鉄筋がたわんだ場合や、締固めが不十分な場合に発生する場合もある。



●発生防止策

- ・端部にモルタルが集中しないように打設する。
- ・タンピングなどの再振動の処理により仕上げる。
- ・適切な単位水量のコンクリートを使用する。
- ・鉄筋の配置位置を設計通りの高さになるように留意して配筋する。
- ・スランプの適正化と均一な材料の敷きならしを行う。



●発生した場合の対応策

- ・コンクリートがフレッシュな状態で沈下ひび割れが確認されたら、速やかにコテ等で修復する。
- ・コンクリート硬化後に沈下ひび割れが確認された際は、シーリングによりひび割れを充填する。

